

人のぬくもりとふれあいが奏でる躍動のまち 丹波高原文化の郷 ●京丹波

広報

# 京丹波

NO.104

2014年6月17日発行

6月号

豊かな実りを願う  
早乙女の植え付け



## 第1回

京都縦貫自動車道  
丹波綾部道路開通へ

## まちが動くとき

京都縦貫自動車道。現在、着々と工事が進むこの道路は、本年度中の完成予定であり、南北に細長い京都府を約百キロメートルの行程でつなぐこととなります。この道路の最後の工事区間、本町を縦断する丹波綾部道路（丹波インターチェンジ～京丹波わちインターチェンジ）の完成は、京都府をより強固にひとつにまとめ、府内全体の活性化の起爆剤となっていくことが期待されています。

一方、瑞穂インターチェンジ（仮称）の完成により同自動車道へのアクセスポイントは三つになり、町内から京都市内や丹波方面へのアクセスは向上しますが、町外からの車両が町内に立ち寄りやすい「通過のまち」になることを危惧する人がいるのも事実です。

では、本町が、この丹波綾部道路開通をいかにチャンスと捉え、さらに活気ある京丹波町を目指すかについて、町内で進む取り組みなどをシリーズでお伝えします。

第一回は、京都縦貫自動車道の丹波綾部道路は「どんな道」で、完成すれば「どんな効果が見込めるのか」などについて、現在の道路の様子とともにお伝えします。



今月の表紙

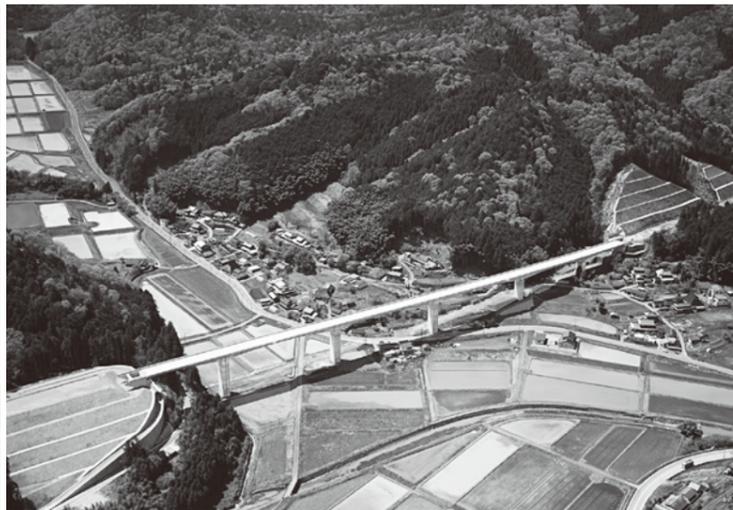
5月25日、下山尾長野地内で行われた京都祇園八坂神社御田祭。晴れやかな青空のもと、早乙女が豊作への願いをこめて植え付けを行いました。

## No.104 CONTENTS

- 2 [シリーズ] まちが動くとき  
京都縦貫自動車道丹波綾部道路開通へ
- 6 Dr's Message いきいき健康術
- 7 ●大丹波連携推進協議会  
災害時等相互応援に関する協定を締結  
●山内善継さんが黄綬褒章を受章
- 8 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2014
- 地域の美化へ協力  
—ボランティア・ロード丹波
- 気軽にテニスを楽しむ  
—町テニス教室
- コイの親子が大空を泳ぐ  
—由良川のこいのぼり
- 競技を通して交流  
—ホッケーフェスティバル
- 野球部員たちの姿を描き入賞  
—日本広報コンクール
- 元気な歌声が会場に響く  
—高齢者・障害者生涯学習講座
- 白球を追い熱戦展開  
—町軟式野球大会
- 大地のキャンパスに植え付け  
—あつぱれたんぼ田植えイベント
- 五穀豊穡願い植え付け  
—京都祇園八坂神社御田祭
- 多くの子どもたちでにぎわう  
—丹波ちびっ子まつり
- 12 [シリーズ] 季節の食材を使ったお手軽料理レシピ



国道9号上に建設が進む須知川橋（仮称）（須知）



井脇地内に架かる瀧谷高架橋（仮称）（井脇）



水呑～大簾をつなぐ丹波綾部道路最長のトンネル瑞穂トンネル（仮称）（水呑）



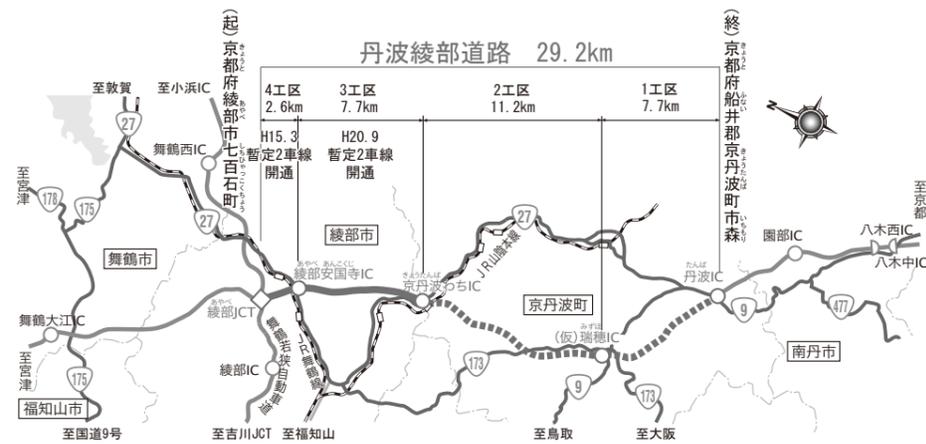
工事が進む由良川橋（仮称）（才原）

## 丹波綾部道路の概要

丹波綾部道路は、京都縦貫自動車道（般国道四百七十八号）の一部として整備。綾部市七百石町から京丹波町市森までをつなぐ二十九・二キロメートルをいいます。この間には、既に平成二十年九月十三日まで開通された区間を合わせ、十三のトンネルと二十五の橋り

よう、一ジャンクションと四つのインターチェンジが設置されます。また、この区間には、曾根地内に丹波パーキングエリア（仮称）が設けられ、同パーキングエリアに隣接し、町が地域振興拠点施設として道の駅「京丹波味夢の里」の建設を進めています。

工事は、町内各地に進められ、着実に全線開通に向けて進んでいます。

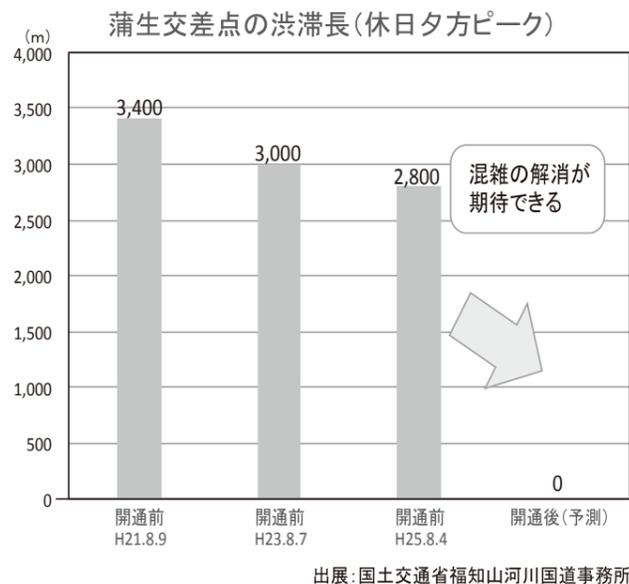


## 道路がまちにもたらすもの

今年度末には開通する予定の丹波綾部道路。この道路が完成することで、私たちが得られる「効果」はどのようなものがあるのでしょうか。

### ① 渋滞の緩和

一つめに挙げられるのが、「渋滞の緩和」です。週末の夕方、国道二十七号を和知方面から丹波方面に走ると、毎回のようにつかまつってしまう渋滞。経験のある方も多いのではないのでしょうか。ゴールデンウィークや夏休み期間中には、渋滞距離は一層長くなります。平成二十五年八月四日には、京丹波町役場前の蒲生交差点を先頭とする渋滞が約二・八キロメートルにもなり



ました。（国土交通省福知山河川国道事務所調べ）  
開通後には、車の流れが分散されることになり、交通混雑の緩和が期待されます。

### ② 代替路の確保

二つめに期待されている効果は「代替路の確保」です。近年、日本各地で発生している集中豪雨による災害や大規模地震災害などにより交通網が遮断されるおそれがあります。

平成十六年十月、京都府内などに大きな被害をもたらした台風二十三号。国道九号の観音峠は、土砂崩れにより通行止めとなりました。復旧までの対策



連続雨量が基準を超えると通行が規制される国道27号（升谷）

### 地域振興へ課題も

前述の二点だけでなく、多方面から開通が期待される京都縦貫自動車道丹波綾部道路。この道路は、京都府の北部と南部の距離を縮め、観光や物流の面でも、多くの人に恩恵を与えます。

一方、わたしたちは恩恵とともに大きな課題も突きつけられているのではないのでしょうか。それは、前述した「通過のまち」です。丹波綾部道路が全線開通することにより、現在、町内を通過して府北部や南部を目指す車の多くが、そのまま通過してしまう可能性があるからです。

このことは、当然、これまでからもさまざまな場所で語られてきており、本町にとって大きな問題であることは間違いありません。

しかし、まちの魅力をさらに磨き、発信することで新たな活力を得ることは可能なのではないのでしょうか。次回は、全線開通を目前にまちの活性化について取り組む様子をお伝えします。

# いきいき健康術 第82回

## 『マムシ咬傷』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員が皆さんにお届けする健康情報コーナーです。

今回の担当は、国保京丹波町病院和知診療所の庄林智所長。これからの季節、農作業やキャンプなどで気をつけたいといけないうまくしに関する話です。

五〜七月の田植えや草刈りの時期、九〜十月の稲刈りの時期に、「へびにかまれて急に腫れてきた」といえば、通常マムシを考えて治療します。というのも日本に住む毒を持つへびといえば、マムシ、ヤマカガシ、ハブの三種のみで、ヤマカガシはかまれてもすぐに腫れない特徴があり、ハブは沖繩地方にしかないへびだからです。

二本の平行する牙痕(かんだ痕)を認める場合は、マムシ咬傷を強く疑います。マムシ毒が注入されると数分以内に腫れと痛みを認め、周囲に皮下出血が出現します。手指の先端をかまれた場合には二〜三時間で手の甲がパンパンに腫れますが、この派手な腫れ具合がマムシ咬傷の特徴です。

一方、草むらの中で何にかまれた(刺された)が、へびかどうか分からないという場合は、かんだ傷痕、症状(腫れや痛み)、全身状態などから判断せざるを得ませんが、三十分経っても腫れや痛みがなければマムシ咬傷は否定的で、虫刺されなどが疑われます。

マムシ咬傷は、現在の日本でも年間十人弱が死亡するほど、重篤化した際は致死的です。局所の派手



所長 庄林 智 先生(国保京丹波町病院和知診療所)

な腫れや皮下出血はマムシ毒が引き起こしているもので、著しい組織傷害により高CPK、高LDH血症に至ります。

キャンプ場などのかまれた現場での応急処置としては、へび毒が体内に拡がることを防ぐことが最も重要です。局所を安静に保ち、かまれた部位から体の中心へ二関節内側を駆血(しぼる)するのが最も効果的です。しぼりながら速やかに救急病院を受診してください。

### お知らせ

和知診療所では、訪問診療を火曜日、水曜日の午後に行っています。また、訪問看護についても随時行っていますのでご相談ください。

☎ 84-11112

## 大丹波連携推進協議会 災害時等相互応援に関する協定を締結

本町も構成団体の一翼を担う大丹波連携推進協議会がこのほど、災害



協定書の調印を終えた各市町の市町長ら。本町は伴田参事が出席(写真左)(ゆめタウン氷上・兵庫県丹波市)

時などに構成市町が相互に応援しあうことを定めた協定を締結。五月八日に兵庫県丹波市のゆめタウン氷上で行われた同推進協議会総会において、協定締結式を行いました。

協定では、大規模災害が発生した際に構成する市町が、(1)必要な資機材・物資のあっせんや提供、(2)必要な職員の派遣、(3)被災者・避難者の受け入れなどを相互に応援しあうことを確認。締結式に参加できなかった本町の寺尾豊爾町長は、事前に町役場において協定書に署名しました。

今後は、同総会で承認・設置された大丹波防災推進部会において、地域防災計画や必要な資料、情報の交換などを進め、いつ起こるか分からない災害に備えた体制づくりを進めます。

### 大丹波連携 推進協議会とは

京都府と兵庫県にまたがる「丹波地域」にある、京都府の京丹波町、福

## 山内善継さんが黄綬褒章を受章

平成二十六年春の褒章において、山内善継さん(市場)が黄綬褒章を受章。五月十九日に京丹波町役場を訪れ、寺尾豊爾町長に受章を報告しました。

山内さんは、和知町職員を退職後に家業であったクリ栽培に傾注。休耕田などを活用したクリ園の造成、当時京都府では行われていなかった低樹高栽培の実施などに取り組んできました。また、クリ栽培技術普及のために、研修会や講習会の講師を務めるほか、クリの生産・加工・菓子製造などの関係者が集う「大丹波連携丹波くり生産者交流大会(栗サミット)」や「京都丹波くり生産振興大会」の実行委員長も務めました。

今回の受章を受け、山内さんは「特別なことはできていませんが、皆さん

のおかげで受章できました。クリ栽培を中心に、できる範囲で(丹波くりの振興の)手伝いができればと思っています」と、丹波地域の特産品である「丹波くり」振興への思いを話していました。



受章した山内さん(写真左)と寺尾町長(役場町長室・蒲生)

## 地域の美化へ協力

### ■ボランティア・ロード丹波

清掃活動を通して美化意識の向上と美しいまちづくりを行うボランティア活動「ボランティア・ロード丹波」が四月二十七日、国道九号の丹波自然運動公園前から京都縦貫自動車道丹波インターまでの区間で行われました。町中央公民館に集まった百六十人の参加者は、国道沿いの植樹帯の草引きや、歩道のゴミ拾いを行いました。

地域のボランティアグループの一員として参加した女性は「都合のつくときは参加するようになっています。良い活動なので、大勢参加するほうがきれいになっていいですね」と話し、一緒に参加した人たちと作業を行っていました。ボランティア・ロード丹波は、地域住民が主体となり取り組んでいる清掃活動で、道路管理者である国土交通省と町も活動に協力しています。



植樹帯の草を引く参加者(蒲生)

## 気軽にテニスを楽しむ

### ■町テニス教室

未経験者から初心者を対象とした町テニス教室の第一回目が五月二十三日、丹波自然運動公園体育館で開催。二十人の参加者が、和やかな雰囲気の中テニスを楽しみました。

教室では、町スポーツ推進委員の瀬戸豪さんと、自らも教室の受講経験がある田中久志さん(実勢)が、参加者それぞれのレベルに応じた指導を行いました。

未経験者コースに参加した藤田美穂子さん(下山)は「初めてでしたが、今回思い切って参加していただき、和やかな雰囲気の中で楽しめました」と、同じコースの参加者とテニスを楽しんでいました。教室は、全五回、六月二十日まで実施予定です。



コーチの指導を受ける参加者(丹波自然運動公園・曾根)

## 競技を通して交流

### ■ホッケーフェスティバル

京丹波町ホッケーフェスティバルが四月二十九日、グリーンランドみずほで開催。雨が降る中、町内外から参加した六十二チーム約六百人の選手たちが、ホッケーを通して交流を深めました。

この大会は、ホッケーの競技力向上とともに、参加者同士の交流を目的に開催しているもので、今年で九回目を迎えました。

試合では、小学生から大人までが、それぞれの部門に分かれ、家族などの声援を受け、熱戦を展開、小学女子の部では瑞穂ホッケー



ゴールを目指し攻め上がる本町の参加者(グリーンランドみずほ・大朴)

ポーツ少年団が準優勝をおさめました。

## 野球部員たちの姿を描き入賞

### ■日本広報コンクール

町情報センターが制作した自主放送番組がこのほど、日本広報コンクール(日本広報協会主催)において、昨年に続き入賞しました。

入賞作品は、昨年3カ月にわたって須知高校野球部を密着取材したものです。チームが勝利に向かつて努力し、一丸となっていく姿をドキュメンタリー番組として制作しました。

町情報センターでは、今後も日々の取材を大切に、地域の皆さんに愛されるケーブルテレビを目指していきます。



入賞作品の一場面

## 元 気な歌声が会場に響く

### ■高齢者・障害者生涯学習講座

高齢者と障害者を対象とした生涯学習講座、「いきいき大学」と「ひまわり学園」が開講。五月二十日に町中央公民館で開講式と第一講座を開催しました。

開講式では、両講座の学長および学園長を務める町教育委員会の朝子照夫教育長が「皆さんの協

力で楽しい講座にしていきたいと思っています。参加者同士の交流を大切にして、充実した講座にしていきましょう」とあいさつを述べました。

開講式に続いて行われた両講座合同の第一講座では、神戸市で喫茶店を営むかたわら、アコーディオン奏者として活躍する米村博実さんによる「歌声講座」が行われ

ました。

講座では、米村さんと参加者がアコーディオンに合わせて、童謡や唱歌などを歌っていました。米村さんは「声を出すと元気になる。皆さんも声を出して一緒に歌いましょう」と、参加者に語りかけていました。



アコーディオンに合わせて笑顔で歌う参加者(町中央公民館・蒲生)

## コイの親子が大空を泳ぐ

### ■由良川のこいのぼり

和知地区を流れる由良川上空に四月二十七日、約七十匹の色とりどりのこいのぼりが上げられました。

この取り組みは、平成二十二年度の鉄道開通百周年の際、地域活性化のために何かしようと思いついたメンバーによる「大空の会」が始めたもの。当日は、和知小学校前の町営バス車庫前に集まった同会のメンバーが、町内などから寄贈されたこいのぼりを二つずつ上げていきました。

約三時間の作業を経て上げられたこいのぼりは、由良川を吹く風に乗ってゴールデンウィーク中に町内へ訪れる人たちの目を楽しませていました。



大空を舞うこいのぼり(本庄)

## 白球を追い熱戦展開

### ■町軟式野球大会

町体育協会が主催する京丹波町軟式野球大会が五月二十五日、わちグラウンドで開催されました。

今回で九回目の開催となる同大会には、地域や職場などで組織された七チームが参加。二つのゾーンに分かれて熱戦を展開しました。

参加チームのうち、開校以来三年連続で参加している林業大

ズ」として参加し、初勝利を収めました。同チームの園部拓也さん(小畑)は「みんな初心者で、少ししか練習でできませんでしたが楽しくプレーできました」と、大会を振り返っていました。

### 【Aゾーン】

アドルトウエンティーズ

### 【Bゾーン】

蒲生野ユーイチングス



白熱した試合を展開する選手たち(わちグラウンド・安栖里)

## 大地のキャンパスに植え付け

### ■あっぱれたんぼ田植えイベント

今年で六年目を迎えるたんぼに稲でアートを描く「あっぱれたんぼ」。植え付けを行う田植えイベントが、五月二十五日、丹波自然運動公園近くの水田で行われました。

汗ばむ陽気の中、イベントには親子連れを中心に約百四十人が参加。事前に張られたロープに沿って、六種類の古代米と現代米

のキヌヒカリをていねいに植え付けていきました。

今回初めて田植えイベントに参加したという後藤幸宏さん・梓紗さん親子(京都市)は「初めての田植えだったけど楽しかったです。稲刈りも参加したいと思っています」と、自分たちが植えた稲の刈り取りを楽しみにしていました。

今回植えた苗は、十月十日に開催される稲刈りイベントで刈り取られる予定です。



一株ずつ丁寧に植え付ける参加者(曾根)

## 多くの子どもたちでにぎわう

### ■丹波ちびっこまつり

子どもの日の五月五日、恒例の丹波ちびっこまつりが丹波自然運動公園で行われました。会場では、金魚のつかみどりや乗り物コーナー、警察や消防のコーナーなどが行われ、訪れた子どもたちは、休日の一日を楽しんでいました。

コーナーのひとつ、お楽しみコーナーでは、南丹船井レクリエーション協会による身近にある紙や新聞紙を使ったフリスビー作りや、大きなシャボン玉作りを実施。子どもたちの作ったたくさんシャボン玉が、コーナー近くを飛んでいました。



大きなシャボン玉を作る子ども(丹波自然運動公園・曾根)



地域の伝言板

「広報京丹波」を、ふるさとを思い出しながら愛読しております。

先日、No.102 4月号

号で京都縦貫道丹波PA道

の駅名称「京丹波味夢の里」が紹介されておりました。

何と読めばいいのでしょうか？

残念ながら読み方が記されていませんでした。人によって読み方が違うかもしれません。関係者の人たちだけが分かっている、読者に伝わっていない一例だと思います。

広報の意味合いからも、道の駅の宣伝効果からも広報に取り上げられる次の機会にはぜひ「ひらがな」表示を加えていただければなあと思いついて投稿させていただきました。

今後も京丹波町の発展を期待しています。

(京都市在住・六十七歳)

投稿ありがとうございます。読んでいただいている皆さまへの配慮が足らず申し訳ありません。オープン予定の道の駅は「京丹波 味夢の里(きょうたんば あじむのさと)」と申します。

今後は、読んでいただく皆さまへの配慮を忘れずに、町民の皆さまだけでなく、多くの方にわかりやすく町内の様子をお伝えしていきたいと考えています。

## 五 穀豊穰願い植え付け

### ■京都祇園八坂神社御田祭

京都祇園八坂神社の分社がある下山尾長野地内で五月二十五日、京都祇園八坂神社御田祭が執り行なわれました。

祭礼では、神事のあと、すげ笠と色鮮やかな着物に身を包んだ八人の早乙女たちが、神饌田へと入り、雅楽の音色と巫女の舞に合わせて二株ずつ手植えを行いました。

植え付け後は、同神社青年部が稲の邪気を払うとされる獅子舞を、また、地元丹波八坂太鼓保存会が稲に力を与えると言われる太鼓の奉納を行いました。

今回植え付けが行われた苗は、十月中旬の抜穂祭で刈り取られた後、十二月にしめ縄として同神社に奉納されます。



神饌田で苗を植えつける早乙女(下山)

このコーナーは、「身近に起こった出来事」や「感動したこと」、「みんなに教えてあげたい・わたしの健康術」、「こんなサークル活動始めました」、「まちづくりについての意見」、「広報紙への感想」、「イラスト・絵画・写真」、「エッセイ・詩・俳句、川柳」など、読者の皆さんの身近な情報発信としてご利用ください。

はがきに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、情報をお寄せください。匿名希望やイニシャルの場合は、氏名を記入したうえで、その旨を明記ください。(お寄せいただいた情報は随時、掲載します。)

【送り先】〒622-0292(住所不要)

京丹波町企画政策課広報京丹波「わくわくBOX」係  
ファックス/82-2500

Eメール/kikaku30@town.kyotamba.kyoto.jp

### 義援金などの受付状況

東日本大震災への支援として取り組んでいる「義援金」と、友好町・福島県双葉町への「復興支援募金」の受付状況をお知らせします。

受付金額	
義援金	9,136,248円
復興支援募金	5,875,587円

\*平成26年5月31日現在

### わたしたちの町

人口	15,750(-31)
男	7,425(-10)
女	8,325(-21)
世帯数	6,441(-7)
6月1日現在/( )は前月比	



[シリーズ] **第21回**  
食卓の一品に  
どうぞ!!

# 季節の食材を使った お手軽料理レシピ

このコーナーでは、「わたしたちの健康は私たちの手で」をスローガンに掲げ、食生活を通じた健康づくりに取り組んでいる食生活改善推進員協議会の皆さんに、季節の食材を使って簡単に調理できる料理を紹介していただきます。

今回は、新じゃがいもとスナップえんどうをたっぷり使ったコロッケです。肉厚で甘味が強いスナップえんどうとエビの食感がとてもおいしいです。それぞれが引き出す新鮮な旬の味をぜひお楽しみください。

今回の  
料理

## 「スナップえんどうの コロッケ」

1日に必要な野菜の量は300~350g。  
このメニューでは約130gの野菜が取れます。

### 【材料(4人分)】

- ◆スナップえんどう…………… 150g
- ◆じゃがいも…………… 中4個
- ◆むきエビ…………… 小10尾(約100g)
- ◆塩・コショウ…………… 少々
- ◆小麦粉・溶き卵・パン粉…………… 各適量
- ◆揚げ油…………… 適量
- ◆添え野菜…………… 適宜

### ■作り方

- ①スナップえんどうは筋を取り、サッとゆでて1cm幅に切る。むきエビは背に包丁を入れて開き、つまようじで背わたを取ってから軽くゆで、1cm幅に切る。
- ②じゃがいもは皮ごと水からゆでて熱いうちに皮をむき、フォークなどでつぶす。その中に①のスナップえんどうとエビを加えて塩・こしょうを振り、混ぜる。
- ③②を8等分し、小判型にまとめる。
- ④③に小麦粉、溶き卵、パン粉の順に付け、180℃の揚げ油でカラリと揚げる。

### ■栄養価(1人分) ※コロッケ分

エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	食物繊維	塩分
312kcal	12.0g	12.7g	41mg	3.1g	0.4g

〈次回は9月号に掲載する予定です〉



### POINT1!

●スナップえんどうの代わりに、ゆでて粗くつぶしたそら豆を入れてもいいですよ。

### POINT2!

●スナップえんどうのすじの取り方

黒線のようにすじが通っているので、スナップえんどうの先端部(ヒゲ)をねじり、するっと引っ張りながら矢印のようにすじを取ります。



今年度中の開通を目指し、現在工事が進められている京都縦貫自動車道丹波綾部道路。今回は、この道路に関する特集をお伝えしました。

今後、広報京丹波では、町の新しい玄関口として建設中の道の駅とともに、町の歴史の節目となる1年の様子をお伝えできればと考えています。(T)

### 編集後記

#### 【おわびと訂正】

広報京丹波第103号の13ページ、「山口一宜」さんは「山口一宣」さん、15ページ、「三期十二年」は「四期十二年」、「京都府法務局園部支局」は「京都地方法務局園部支局」の誤りでした。おわびして訂正します。

### 京丹波町のシンボル

【町の鳥】  
うぐいす



【町の木】  
イチヨウ



【町の花】  
つつじ

